

～自然の家での活動が 各教科等の授業時数確保につながります～

## 学習指導要領に対応した信州高遠活動プログラム



独立行政法人国立青少年教育振興機構  
国立信州高遠青少年自然の家

# 宿泊体験活動と教育課程上の位置付け

文部科学省ホームページ「学習指導要領改訂の基本的な考え方に関するQ&A」より

宿泊体験活動については、そのねらいに応じ、教育課程上の位置付けを考える必要があります。活動全体を特別活動の学校行事として位置付けることができるのは当然ですが、例えば、農作業体験（社会）、自然観察（理科）、野外炊事（家庭）など、教科の内容にかかわる活動が含まれる場合、当該活動について教科の学習として位置付けることは可能です。なお、その場合には、各教科の目標や内容を踏まえ、指導計画において体験活動のねらいを明確にすることが求められます。また、例えば、宿泊地周辺の環境に関する探究的な活動が行われる場合には、その活動を総合的な学習の時間として位置付けることも可能です。

## 信州高遠の活動プログラムととくに関連の深い教科とその内容について取り上げてみました

活動プログラム		時数	とくに関連の深い教科	小学校学習指導要領解説より
	星の観察	2	理科 4年	B 生命・地球（4）月と星 月や星を観察し、月の位置と星の明るさや色及び位置を調べ、月や星の特徴や動きについての考えをもつことができるようにする。 ウ 星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わること。
自然観察	グリーンアドベンチャー	2～4	理科 3年	B 生命・地球（2）身近な自然の観察 身の回りの生物の様子を調べ、生物とその周辺の環境との関係についての考えをもつことができるようにする。 ア 生物は、色、形、大きさなどの姿が違うこと。 イ 生物は、その周辺の環境とかかわって生きていること。 【解説より】 (中略)理科の学習の基盤となる自然体験活動を充実するために、児童の野外での発見や気付きを学習に生かすような自然の観察を取り入れるようにする。(後略)
	樹木・山野草の観察	1～2		
	水生動物の観察	1～2		
	野山の昆虫観察	1～2		
	野山の動物観察	1～2		
	野鳥観察	1～2		
野外体験	ハイキング	2～4	体育 5・6年	A 体づくり運動（1）運動 イ 体力を高める運動 (イ) 力強い動き及び動きを持続する能力を高めるための運動 【例示】 「時間やコースを決めて行う全身運動」
	登山	4～8		
	オリエンテーリング	2～8		
	フライングディスクゴルフ	2		
	マレットゴルフ	3	B 日常の食事と調理の基礎 (1) 食事の役割について、次の事項を指導する。 イ 楽しく食事をするための工夫をすること (3) 調理の基礎について、次の事項を指導する。 イ 材料の洗い方、切り方、味のつけ方、盛り付け、配膳及び後片付けが適切にできること エ 米飯及びみそ汁の調理ができること	
	野外炊飯	4		
	石窯焼きピザ体験	4		

野 外 体 験	キャンプファイヤー キャンドルのつどい	2 2	音楽 3・4年 及び 5・6年	3・4年 A表現 (1)歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。 イ 歌詞の内容、曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。 5・6年 A表現 (1)歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。 エ 各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。
	そり遊び 歩くスキー	2～4 2～4	体育 全学年	第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。 (4)自然とのかかわりの深い雪遊び、氷上遊び、スキー、スケート、水辺活動などの指導については、地域や学校の実態に応じて積極的に行うことに留意すること。
食 文 化	もちつき そばうち 五平餅 おやき	3 4 4 4	家庭 5・6年	B 日常の食事と調理の基礎 (1) 食事の役割について、次の事項を指導する。 イ 楽しく食事をするための工夫をすること (3) 調理の基礎について、次の事項を指導する。 イ 材料の洗い方、切り方、味のつけ方、盛り付け、配膳および後片付けが適切にできること
創 作 活 動	こけしの絵付け 白樺のコースター・壁飾り すべラップ マイはし マイしおり 勾玉作り 木の人形 木のキーホルダー デコレーションキャンドル モザイクキャンドル 押し花絵 土笛作り 籐細工 草木染め 竹笛作り 竹とんぼ作り	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 4 3	図画工作 3・4年 及び 5・6年	3・4年 A表現 (2)感じたこと、想像したこと、見たことを絵や立体、工作に表す活動を通して、次の事項を指導する。 イ 表したいことや用途などを考えながら、形や色、材料などを生かし、計画を立てるなどして表すこと。 ウ 表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして使うとともに、表し方を考えて表すこと。 5・6年 A表現 (2)感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことを絵や立体、工作に表す活動を通して、次の事項を指導する。 イ 形や色、材料の特徴や構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、表し方を構想して表すこと。 ウ 表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして使うとともに、表現に適した方法などを組み合わせて表すこと。
そ の 他	高遠町史跡めぐり (ウォークラリー)	4～6	社会 6年	(1)我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。

※ 時数は、小学校の授業時間の45分を1時間としています。

## 各教科・領域での活動

～A小学校6年生集団宿泊学習の場合(平成27年6月実施6泊7日)～

※総合＝総合的な学習の時間

国語:2 社会:6 理科:4 図画工作:4 家庭:4 体育:2 総合:20 合計:42時間を確保しています。

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
一日目	活動プログラム 時数		8:00 学校出発	バス移動				12:00 開校式	12:30 昼食	13:10 シート・荷物搬入	14:00 野外炊飯 家庭2		17:00 17:20 タベのついで 入浴	18:00 部屋整理・登山準備	19:00 19:15 班の反省 班長会議 就寝準備	20:00 天体観測 理科1	21:00 消灯・就寝
二日目	活動プログラム 時数	6:00 起床	7:00 7:20 朝のついで 朝食	守屋山登山 総合7							17:00 17:20 タベのついで 入浴	18:10 夕食	19:00 自由時間	20:00 20:15 班の反省 班長会議 就寝準備	21:00 消灯・就寝		
三日目	活動プログラム 時数	6:00 起床	7:00 7:20 朝のついで 朝食	グリーンアドベンチャー 理科3			12:30 12:40 漢字学習 昼食	13:30 木のキーホルダーづくり 図画工作2	15:00 百人一首 国語1		17:00 17:20 タベのついで 入浴	18:00 夕食	18:40 自由時間	20:00 20:15 班の反省 班長会議 就寝準備	21:00 消灯・就寝		
四日目	活動プログラム 時数	6:00 起床	7:00 7:20 朝のついで 朝食	松本見学 奈良井宿→ホテルで昼食→松本城→旧開智学校 社会6							17:00 17:20 タベのついで 入浴	18:00 夕食	18:40 プレゼン中間発表	20:00 20:15 班の反省 班長会議 就寝準備	21:00 消灯・就寝		
五日目	活動プログラム 時数	6:00 起床	7:00 7:20 朝のついで 朝食	おやきづくり 家庭2		12:30 13:10 屋食(おき)	室内運動会 体育2		15:00 白樺壁飾り 図画工作2		17:00 17:20 タベのついで 夕食	18:00 就寝準備	18:30 キャンプファイヤー 総合2	20:00 入浴	20:45 21:00 班の反省 班長会議 就寝準備	21:30 消灯・就寝	
六日目	活動プログラム 時数	6:00 起床	7:00 7:20 朝のついで 朝食	千代田湖ハイキング 総合6							17:00 17:20 タベのついで 夕食	18:00 就寝準備	18:30 中山湖ナイトウォーク 総合2	20:00 入浴	20:45 21:00 班の反省 班長会議 就寝準備	21:30 消灯・就寝	
七日目	活動プログラム 時数	6:00 起床	7:00 7:20 朝のついで 朝食	8:00 清掃・荷物移動	8:45 退所式	9:20 退所	諏訪周辺見学 総合3		バス移動			17:00 学校到着					

### 宿泊体験活動 Q&A

Q:教科の時間が減ってしまうので、宿泊体験活動をなかなか実施できないのですが・・・？

A:いいえ、宿泊体験活動をしていても教科の時間が減ることはありません。上記のA小学校の例をご覧ください。信州高遠の活動プログラムは、各教科の目標を満たしていれば、教科や領域の内容として実施することができます。つまり、教科などの学習を信州高遠で行うことが可能なのです。

Q:宿泊体験活動をしようと思っても、教師である私がそういう体験が少なくて、プログラムを考えられないのですが・・・？

A:大丈夫です。信州高遠の職員がアドバイスをします。各学校の目的に応じて活動プログラムをご紹介します。またプログラムによっては、研修指導員がていねいに指導を行います。



独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

〒396-0301 長野県伊那市高遠町藤沢6877-11

TEL: (0265) 96-2525 FAX: (0265) 96-2151

<http://takato.niye.go.jp>